

特集

- ・ ケント紙・尾瀬の木道エコペーパーキャンペーン

- ・ 書評
「トンデモ本の世界」

ケント紙・尾瀬の木道紙キャンペーン中！

夏も盛りとなり毎日暑い中、皆様いかがお過ごしでしょうか。8月も7日には立秋となりますが、涼しくなるのはまだまだ先の話。暑さ対策をしっかりして、有意義なお盆休みを過ごしたいものですね。

さて、秋の需要期に向け始まった今回のキャンペーン、対象商品は既報の通り、

ケント紙全般

尾瀬の木道エコペーパー

の2本立てとなっております。前回のニュースレターでは、環境対応商品でもある尾瀬の木道エコペーパーについて、やや詳しく説明をいたしました。環境対応があらゆる分野で叫ばれる昨今、こうした商品や情報には敏感でいたいものです。

そして、ケント紙にも環境対応商品があります。その一例として今回紹介

するのが「ケナフケント」です。木材ではないケナフを原料として(30%以上)使うことで、環境負荷を抑えられる、とされている紙です。「非木材紙マーク」も付けられます。

ケナフとは、南アジア原産と考えられる1年草で、生長は非常に早く、100~120日で成熟します。高さは1.5m~3.5mと高く、直径8~15cmの花も咲きます。生育が早く、繊維も沢山収穫が見込めるため、西暦2000年頃から製紙原料として注目を浴びるようになりました。古くからの栽培植物ですが、現在は主に東南アジアやインド、アフリカの一部で栽培されています。

このケナフケントにスポットを当てる点はもうひとつあります。

それはこれが「グリーン電力証書 “ENERGY GREEN ”」を発行されて

いるということです。ケナフケントを抄造する際に消費される電力は現在、年間90000kWhになりますが、それに相当する電力量を、北海道の石狩市民風車によって発電しているということです。正確には、90000kWh分を別に買っているのですが、とにかく、抄造は風力発電によって賄われている、ということになっております。(ほかにこの証書が発行されているのは、特殊紙「エスティム」があります)

ケント紙はご存知の通り多種多様にあり、弊社でも在庫している、清らかな白さが魅力の「北雪ケント」や、再生紙使用の「クラークケント」など、用途に応じ様々に使い分けられます。

この機会にまた改めてケント紙にご注目下さい。その他お問い合わせ等は、弊社営業までお願いします。



スギウラ株式会社
営業部 営業一課
〒370-0006
高崎市問屋町 2-2-8

電話番号
代 表
027-361-5808
営業一課
027-361-5734

Fax
027-361-1272

当社 Web サイト
www.kamisugiura.co.jp

書評「トンデモ本の世界」(太田出版)と学会・著

皆さんは「トンデモ」という言葉をお聞きになった、もしくはご覧になったことがあるでしょうか。TV等で時折使われるこの表現、発祥はこれです。

本来の定義は(造語に定義、というのも変ですが)「と学会」を名乗る好事家の集まりが名付けたもので、「製作者の意図したところとは別に楽しめるポイントがあるもの」ということです。

「と学会」とは、小説家・山本弘氏を会長とする団体で、トンデモを楽しむ一見ただのおふざけ集団のようであり、しかし「学会」を名乗るだけあって、なかなかの知識人の集まりです。運営委員には「トリビアの泉」スーパーバイザーの唐沢俊一氏らも名を連ねます。

では「トンデモ」とは何でしょう。「全ての文明の発祥の地は日本だった」「一万円札にはノストラダムスの予言が暗号化され隠されている」・・・これらを聞くと、大抵の人は「は？」という反応になります。当然です。しかしこれらの論を大真面目に考えて、しかも本にまでしてしまったという事実が存在するのです。どう考えてもおかしいこれらの本を、突っ込みながら楽しむという、見方によっては性格の悪い楽しみ方です。

このようにあからさまに間違っており、楽しめるだけなら良いのですが、トンデモ本の中には一見本当っぽい嘘が混ざっていることがあります。それはベストセラーの中にもあるのがやっかいなのです。例示すると「水からの伝言」や「ゲーム脳の恐怖」「買ってはいけない」など多数あります。

例えば「水から～」は、水を入れたコップに「ありがとう」など耳障りの良い言葉を書いた紙を貼っておくと、凍らせたとき綺麗な結晶にな

る、というものです。もちろん嘘です。水に言葉は分かるはずありませんし、紙を貼ったから氷の結晶構造が変わる、などということもありえません。しかし、この間違っただけの論を小学校で、正しい言葉を使うための教材として採用してしまった教員も居るのです。正しい綺麗な言葉遣いは社会生活のうえで非常に大切ですが、その根拠がこのような間違っただけの理論で構築されてはいけません。

この「トンデモ本の世界」シリーズには、楽しむ用途のほかに、上記のような間違っただけの知識を正してくれる効能もあります。「ゲーム脳～」「買っては～」がどう間違っているかは読んでのお楽しみということで・・・。

今は本のほかにもTVやネットその他色々情報が氾濫し、それらの取捨選択は非常に重要です。そのとき道標となるのは、正しい知識と、多様な情報チャンネルを選別する目です。どうも本やTVで言っただけのことを鵜呑みにしてしまう、それが元で恥をかいたなどという経験のある方、この本のような処方箋はいかがでしょうか。



お気付きの点や質問、疑問などありましたら、ご遠慮なく営業または、下記までお問合せください。

お問合せ
メールアドレス
sg-arai-yoshio
@kamisugiura.co.jp

